

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風 東ユニット		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	令和5年6月9日	評価結果市町村受理日	令和5年8月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/i/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosyoCd=2192100234-00&SerViCeCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地
訪問調査日	令和5年7月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

アットホームを基調とした雰囲気づくりを心掛けている。お客様同士で団欒スペース、プライバシーに配慮されたお部屋を設け、個々のリズムに合わせた生活空間を提供している。地域交流のため、ボランティアの方の協力も頂きながら様々な取り組みに挑戦、地域の恒例行事に参加したりと、常に社交性豊かであり続けられるよう努めている。また、すべての活動において完遂を目指し、達成感を得られる機会を設けており季節感あふれるおやつ作りや趣味の継続など生活の中で楽しみや充実感を持って頂けるようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍で地域交流や外出の機会は減少したが、季節を感じる行事やレクリエーションを工夫し、利用者が楽しく過ごせるケアを提供している。利用者のできる洗濯物干しやたたみ、オムツ入れの新聞折り、食器洗い等を職員と一緒にすることで、生活リハビリと共に生きがいにもつなげている。協力医は24時間指示や連携が得られる関係で、緊急時の不安軽減と共に重症化阻止への安心感にもなっている。訪問看護とも連携し、点滴や酸素投与も希望に合わせて看取りにも対応し、家族と一緒に最期まで普段通りの生活が送れるように支援している。法人内に様々な研修体制が整備しており、職員の育成と質の向上につなぐ仕組みがある。利用者の満足感と家族の安心感を備えている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~42で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10,11)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:18)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	【その日、その瞬間 悔いのない介護をしよう】 センター独自の理念のもと日々の業務に取り組んでおります	法人全体の理念の他、事業所独自の理念を掲げている。目につきやすい玄関に掲示し、意識できるようにしている。毎月の全体会議で、センター長が職員へ理念の説明や確認をし、日々の介護で実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の西小学校や保育園児との交流、小中学生の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています	自治会や消防団の後援会に加入し、子ども110番の登録をしている。回覧板で地域行事の情報をもらったり、AEDの設置を住民に周知している。コロナ禍で地域との直接交流やボランティアの訪問が中断しており、再開に向けて調整中である。	小学校が道路を隔てた近接する場所にあり、今後体験学習の受け入れや1階の空きスペースを活用したイベント等で住民との日常的な交流の再開が望まれる。
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括の職員、民生委員、ご家族の方に利用者様の様子、実施したイベント内容や事故報告共有などご報告をしている	コロナ禍中は書面開催としていたが、5月から対面開催をしている。家族が参加しやすいように土曜日に開催している。面会やフレイル防止について意見をもらい、面会方法の工夫や運動の機会を取り入れて、サービスの向上に活用した。	
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取組みなど相談協力を築くよう努めております	書類提出時など、市の担当者に最近の様子を伝え、コミュニケーションを図っている。メールや電話で連絡を取り合ったり、情報ももらったりしている。経済的困難者の受け入れに際し、助言を得て運営規程の変更等に対応している。	
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化・虐待防止委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させていただいております。合わせて単独外出の危険回避として、毎時チェック表を活用して、防止に取り組んでおります	身体拘束等の適正化の為の指針を定め、毎月委員会を開催している。年2回研修を実施し、職員コメントを記入した議事録を作成している。利用者の所在確認を1時間毎にチェックし、外出希望の利用者には職員が付き添っている。身体拘束廃止のマニュアルを整備し、職員はセルフチェックシートで振り返り拘束しないケアに取り組んでいる。	
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に務めております。毎月の全体会議でも報告、情報共有しております。職員アンケート等で聞き取りも実施しております	虐待防止のための指針を作成し、毎月の委員会と年2回の研修を実施している。虐待の芽となりやすいアンケート及びセルフチェックシートを随時実施し、虐待防止への気づきに活かしている。スピーチロックについても会議で話し合い、虐待防止に努めている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧できる出来るように整備されております		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解は頂いております。ご家族様に質問を尋ね、納得をして頂いております		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております	面会に来所する家族が多く、利用者の状況を詳細に伝え意見や要望を聞いている。毎月の手紙には、利用者の日頃の写真を一緒に送付し、緊急な連絡事項は電話、メールやラインで意見を聞いている。家族からの意見は、連絡ノートや申し送り等で共有し反映している。	
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております	日頃の業務内や全体会議で職員の意見を聞き、レクリエーションや行事内容等は会議で検討している。管理者からセンター長に上申し法人の協議会で検討し、休憩時間がとりやすくなった。PDCAサイクルを意識し、業務内容をIC化し効率化を図っている。	
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様、配慮を行っております	家庭事情や体調に合わせ希望する勤務形態としている。ユニホームの支給、資格取得手当の支給、研修受講費用の事業所負担、研修時の勤務への配慮、5年毎の永年勤続表彰等を実施している。残業を少なくする取り組みで働きやすくしている。	
12	(10)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様、促進を行っております	法人内に新人、中堅、管理職と、レベルに合わせた研修体制を整備している。介護実務者研修は法人が運営し、受講料も負担なしの体制にしている。法人には、定期研修と毎月の各種の研修があり、ZOOMを利用し事業所での受講としている。外部研修も受講を勧め学ぶ機会を作っている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で毎月実施のGH協議会に参加(リモート)することで、意見交換や情報共有など行っております		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付け)など		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています	話しやすい場所や周りの雰囲気にも配慮し、入浴時や居室で話を聞き、食べたいものややりたい事を聞いている。意思表示が難しい方には、2者択一で表情や顔つき等から把握している。今までの生活の様子から、職員が代弁したりして意思表示しやすくしている。	
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております	介護職員が本人に思いや希望を聞き、家族や医師にも意見を聞いて、担当者会議や全体会議で検討している。モニタリングは3ヶ月に1回だが、見直しが必要時や状態変化時は見直し、家族にも説明している。	
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノートなどを活用し、共有を確認後に押印するなどの実施をしております	アイパッドやパソコンを使用し、利用者個々の状況をオンタイムで共有できるようにしている。介護日誌の確認や連絡ノートを閲覧し、情報の共有に漏れがないようにしている。急な変更や連絡事項は、朝夕の申し送りにも伝達し、職員で周知している。	
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいる場合は対応をしております	年間行事、レクリエーションの工夫やパズルや塗り絵等で利用者の楽しみが増えるようにしている。外部との交流や外出の機会が減少し、ラジオ体操やリハビリ体操で体を動かす運動を取り入れている。1階の空きスペースを利用し、サロンの開催等を検討しているが、具体的な実施には至っていない。	法人内ではかつては1階で通所事業を運営していた。その空きスペースを利用し、住民との触れあいや地域交流にもつながる活用を期待したい。

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後、保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験を積極的に実施して参ります		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを実施しております	入居時に24時間訪問診療体制がある協力医に全員が変更している。眼科等の専門医や画像検査等の総合病院受診時は、家族が同行したり職員が送迎したりしている。協力医は24時間指示や連携が得られ、急な往診も可としている。訪問看護は委託契約している。	
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています	コロナ禍中は入院時の見舞いはできなかったが、5類移行後は、利用者に面会し関係性を保っている。家族やソーシャルワーカーに随時電話をかけて、状態を確認したり情報交換をしている。退院時は、カンファレンスに参加し、サマリーをもらっている。	
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話しさせていただいております	急変時や終末期における医療等に関する意思確認書を用いて、契約時に意向を確認している。状態に合わせて家族に職員及び医師からも説明し、意向を確認している。看取りを希望する場合は、訪問看護とも連携し職員と方針を共有し看取っている。	
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間で研修、訓練などを実施しておりますが、実践力が伴わない職員もいるのが現状です		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様にお問い合わせいただき、了承頂いております	地震、洪水、火災等の防災訓練を、夜間想定も含め行っている。BCPを作成し、災害対策の研修を実施している。水、ご飯、缶詰や毛布等を備蓄している。災害時の協力依頼を地域に声かけているが、訓練時に住民の協力が得られていない。	コロナ禍にて近隣との交流関係が中断していた。今後、様々な機会に地域の方の協力が得られるように働きかけて、訓練の実施が望まれる。

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っておりますが、不適切な言動等があった場合は、その都度、注意し、施設全体で共有しています。今後も人格の尊重、誇りを損ねないように心掛けています	写真の取り扱いは入居時に確認しているが、細心の注意を払っている。トイレ誘導時は大声を出さない、排泄介助時は扉を閉める、入浴時の羞恥心への配慮等に注意している。声かけが気になる場合は、管理者がその都度指導している。接遇や個人情報の取り扱い等について、全体会議でも話し合っている。	
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表わせるようなお声掛けを心掛けております		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております	利用者の好物などは行事食として取り入れ、旬の食材で季節も感じ取れるようにしている。おやつレクとして月1回は、たこ焼き、水羊羹、チョコケーキ等のおやつ作りをしている。できる人には、洗い物を職員と一緒にやっている。	
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理しその方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせていただいております	歯ブラシを手渡し、利用者ができるところまで磨いてもらい、磨き直しを職員が行っている。状態に合わせてスポンジブラシで口腔ケアをしている。義歯は每晚洗浄し、義歯洗浄剤に浸し保管している。希望で歯科の訪問診療を利用している人もいる。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行うことでトイレでの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方やオムツ使用の方もおられます		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持を行いつつ入浴していただいております。入浴剤を使用することで楽しく入浴できるよう心がけております		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないなど生活リズムのため、日中の活動状況に気を付けております		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようにしております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております	個々の薬包に日付と名前の印字、朝昼夕の色分けラインを付し、薬剤師が定期的にセットしている。薬保管ケースを移動時も含めて、服薬・点眼・塗布・貼付行為は、必ず二人の職員で確認し、誤薬や落薬がないように注意している。薬の変更時は医師と連携し変化の把握に努めている。	
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたくことで、役割・気分転換など行っていると思っております	利用者の生活歴や現在の状況を把握し、できる事をできる範囲でやってもらっている。洗濯物干し・たたみ、新聞折り、柿の皮むきや洗い物等の家事労働から洋裁、折り紙や塗り絵等の趣味活動まで、今できる事を大切にして、安心感や達成感が得られるように支援している。	
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	近隣の神社への散歩、ベランダへ出て外気浴など心掛けております。コロナも緩和され、その都度、ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力頂いております	日常的な外出は天候や職員の勤務体制等で制限あるが、近隣の散歩、初詣、イルミネーション見学等に出掛けている。家族の協力を得て買い物、帰省や外食等に行ってもらっている。ベランダに出て洗濯物干しや外気浴をする等で外気に触れる機会を作っている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意向はお伺いしております		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節がわかるような壁作りを行ったり、花を置いたりと過ごし易い環境作り心がけております	季節毎の壁面飾り、あじさいや風鈴の暖簾、削り絵や吊し飾り等の作品をリビングに掲示している。日刊紙や広報誌を置き、自由に閲覧できるようにしている。食後に唱歌や歌謡曲を流し、穏やかに過ごせるようにしている。常時の換気と日に2回の消毒、室温管理にも努めている。	
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております。また居室で過ごしたい方は居室で過ごして頂いています		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただけるよう、支援させて頂いております		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風 西ユニット		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6-128		
自己評価作成日	令和5年6月9日	評価結果市町村受理日	令和5年8月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index_php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&i_gyosvoOd=2192100234-00&SerViceOd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橘町1丁目3番地		
訪問調査日	令和5年7月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~42で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10,11)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:20)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:18)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	【その日、その瞬間 悔いのない介護をしよう】 センター独自の理念のもと日々の業務に取り組んでおります		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の西小学校や保育園児との交流、小中学生の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています		
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括の職員、民生委員、ご家族の方に利用者様の様子、実施したイベント内容や事故報告共有などご報告をしている		
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取組みなど相談協力を築くよう努めております		
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化・虐待防止委員会の設定、研修を行っております。玄関の施錠は利用者様の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させていただいております。合わせて単独外出の危険回避として、毎時チェック表を活用して、防止に取り組んでおります		
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に務めております。毎月の全体会議でも報告、情報共有しております。職員アンケート等で聞き取りも実施しております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成されいつでも職員全員が閲覧できる出来るように整備されております		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解は頂いております。ご家族様に質問を尋ね、納得をして頂いております		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております		
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております		
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本体内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇など取れるよう考え休息できる様、配慮を行っております		
12	(10)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様、促進を行っております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で毎月実施のGH協議会に参加(リモート)することで、意見交換や情報共有など行っております		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付け)など		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めています		
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております		
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノートなどを活用し、共有を確認後に押印するなどの実施をしております		
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいる場合は対応をしております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後、保育園児、小学生の体験学習、中学生の職場体験を積極的に実施して参ります		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを実施しております		
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています		
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意向などお聞きし、延命処置についてもお話しさせていただいております		
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間で研修、訓練などを実施しておりますが、実践力が伴わない職員もいるのが現状です		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様にお願いに上がり、了承頂いております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っておりますが、不適切な言動等があった場合は、その都度、注意し、施設全体で共有しています。今後も人格の尊重、誇りを損ねないよう心掛けています		
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表わせるようなお声掛けを心掛けております		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております		
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立により職員が調理しその方に合わせた食事形態の提供を行うとともに食事・水分摂取量の記録は毎日行っております		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の利用も可能とさせていただいております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時のお声掛け、誘導を行うことでトイレでの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方やオムツ使用の方もおられます		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持を行いつつ入浴していただいております。入浴剤を使用することで楽しく入浴できるよう心がけております		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないなど生活リズムのため、日中の活動状況に気を付けております		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようになっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております		
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたくことで、役割・気分転換など行えていると思っております		
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	近隣の神社への散歩、ベランダへ出て外気浴など心掛けております。コロナも緩和され、その都度、ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力頂いております		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意向はお伺いしております		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節がわかるような壁作りを行ったり、花を置いたりと過ごし易い環境作りに心がけております		
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております。また居室で過ごしたい方は居室で過ごして頂いています		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただけるよう、支援させて頂いております		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意向やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております		